

1. 概要

EF3850F-42Eは、EFP-本体に装着して使用するEFP-本体専用パラレル書込みユニットです。

EF3850F-42Eを使用することにより、三菱電機製38000グループのフラッシュメモリ内蔵MCUへの書込み、読み出しができます。

また、EF3850F-42Eには42ピン0.8mmピッチSSOP(42P2R-A)用ICソケットを実装しています。

図1.1にEF3850F-42Eの外形図を示します。

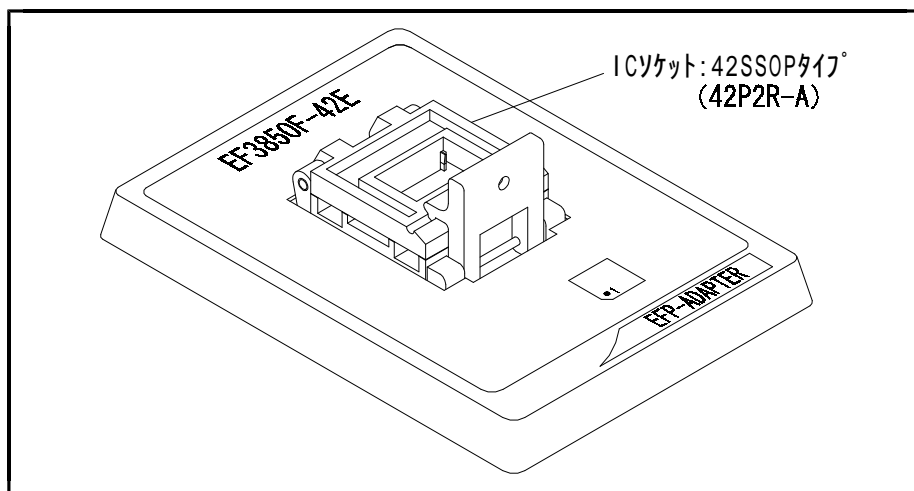


図1.1 EF3850F-42E外形図

2. MCUの挿入方法

MCUを挿入するときは、EF3850F-42E上ICソケットの1番ピンとMCUの1番ピンを合わせて挿入してください。誤挿入はMCUに致命的な破損を引き起こしますので、十分ご注意ください。

図2.1にMCUの挿入方法を示します。

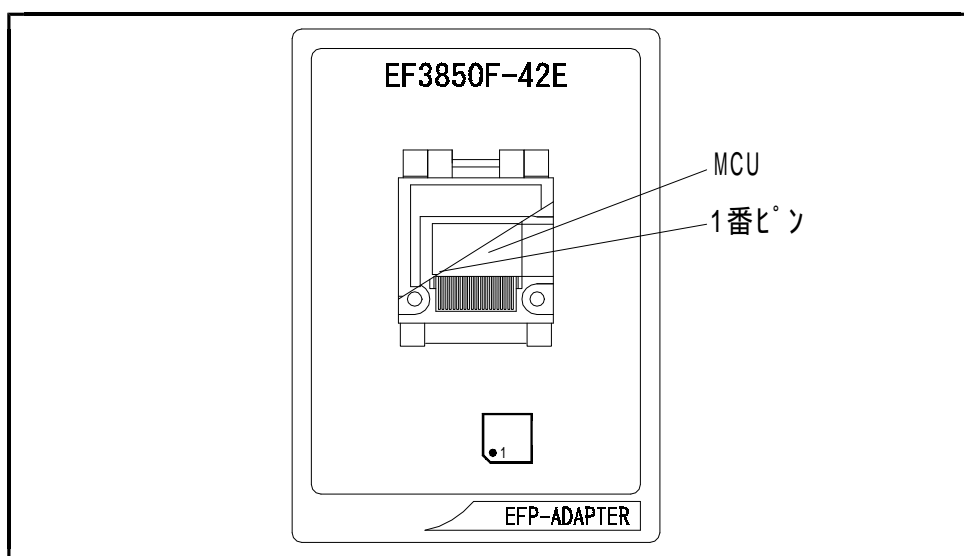


図2.1 MCUの挿入方法

3.仕様

表3.1にEF3850F-42Eの仕様を示します。

表3.1 EF3850F-42E仕様

MCUタイプ	メモリタイプ	対応MCU名	プログラムメモリア
M3850xFx(BOOT)	フラッシュメモリ	M38507F8FP M38517F8FP	F000H ~ FFFFH
M385xxF8(NORMAL)	フラッシュメモリ	M38507F8FP M38517F8FP	8000H ~ FFFFH
備考	<p>動作クロック：2MHz（EF3850F-42E上のセラミック発振子から供給） 電源：EFP- から供給</p> <p>本ユニットは以下の環境にてご使用ください。 <EFP- 本体> Monitor Version : Ver.3.00.38 以上 <コントロールソフトウェア> WinEFP Version : Ver.1.20.10 以上 EFPMCU32.TBL Version : Ver.3.02.15 以上</p>		

4.MCUユニットの清掃について

MCUユニット上のICソケットの接触不良を防止するために使用回数に応じて定期的にICソケット内の接触ピンをブラシ等で清掃ください。

5.Erase（イレーズ）

イレーズコマンド内のErase Typeパラメータでブロック消去および全ブロックの一括消去が行えます。

イレーズコマンドのパラメータ入力ダイアログを図5.1に示します。

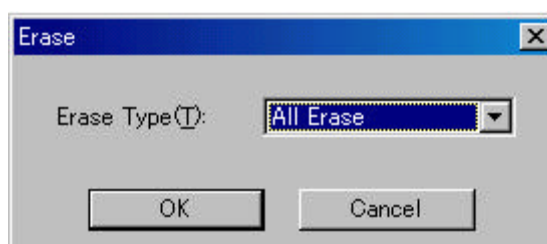


図5.1 イレーズコマンドパラメータ入力ダイアログ

1) Erase Type（イレーズタイプ）

イレーズタイプパラメータ表示領域右側のドロップダウンリスト（下向き矢印をマウスでクリックすると表示）内にはAll Eraseおよび各ブロックのアドレス領域（xxxxxxH~xxxxxxH）が表示されますので消去方法を選択してください。

2) OKボタン

イレーズコマンドを実行します。

3) Cancelボタン

コマンドを中止します。